

平成30年度 第12回浪岡自治区地域協議会 《概要》

■日 時 平成31年2月15日(金)午後1時30分

■場 所 浪岡庁舎2階 大会議室

■出席者

○委員

伊藤 芳男、小倉 保英、長内 孝緑、工藤 修一、佐藤 二彦、佐藤 文一、
常田 あきえ、沼宮内 春雄、藤本 隆平、前田 康弘、山内 一修、山内 行雄、
山内 了介、山田欣也
欠席委員：一戸 善正、鎌田 洋子、後藤 公司、下山 義昭、清野 葭子、
奈良岡 寿広

○職員

浪岡区長：棟方 牧人
浪岡事務所副所長：相馬 紳一郎
浪岡事務所次長総務課長事務取扱：長谷川 敬
企画部企画調整課長：館山 公、同課主幹：須藤 静路、高野 新
企画部財政課長：白戸 高史、同課主査：渡邊 健徳
地域づくり振興課長：奈良 英文
事務局（地域づくり振興課）：木村 浩一、山内 公弥

■会議内容

案 件

①青森市総合計画 前期基本計画について

②青森市行財政改革プランについて

企画部企画調整課から、「青森市総合計画基本計画〔概要版〕」の資料等に基づき説明。（別添資料参照）

◎委員からの主な意見等

委員 行財政改革プランで行政評価の実施とありますが、これはどなたが評価するのでしょうか。それと以前あった自治体経営システムとPDCAサイクルとは、どのように違うのですか。

企画調整課 PDCAサイクルに基づく行政の評価の仕方は、自治体経営システムの中からスタートしたものです。ただ、やり方は違いますが、PDCAサイクルで行政を運営していく考え方は継続しております。青森市に限らず、他の自治体等でも行っております。

評価については、施策ごとに目標の設定をしており、毎年、施策ごとの評価を実施します。満足度等については、市民意識調査等を活用し、市民の意向をうかがいながら、その結果を公表していく予定です。

毎年、施策の評価、また、それぞれ全ての事務事業の点検も行うこととしており、その点検をもとに、次の事業をどうするか検討をして予算化していくという一連の流れで進めていきます。

委員 PDCAのAの部分はどういうふうにして、フィードバックするということですか。

企画調整課 チェックしたものは公表します。

アクションというのは次の事業計画なり、その事業化を進めることがアクションになります。

委員 入札制度の見直しについて、もう少し説明していただけますか。

企画調整課 現在、金額だけではなく、総合評価をして落札者を決めるという方式を一部取り入れて、試行的に運用しておりましたが、それを本格化するということになります。

案 件

③平成 31 年度当初予算（案）と主な取組について

企画部財政課から、「平成 31 年度当初予算（案）の概要」の資料等に基づき説明。（別添資料参照）

◎委員からの主な意見等

委 員 学校トイレ洋式化改修ですが、浪岡南小学校と北小学校で、学校の中のトイレ全部が対象となるのですか。

企画調整課 体育館などのあまり使わないところは洋式化の対象外になりますが、基本的に生徒が通常使う普通教室のトイレは全て洋式化する予定となっております。

委 員 融雪溝の話ですが、北中野の融雪溝の工事は来年度からの設計業務委託になるのですか。当初、もっと早く工事をすると聞いていましたが、なぜ、そんなに遅れているのですか。

都市整備課 融雪溝は、国の交付金事業を活用しており、現在、青森市の要望に対して、国の内示がほしい 5 割から 6 割程度となっております。その要因として、震災事業や、オリンピック関係に重点的に予算が配分になっているようです。

これからもできるだけ国に要望し、予算を獲得できるように努めたいと思っています。

委 員 コミュニティバスですが、利用する方は、老人や学生の人が多いと思うので、雨や雪が防げる屋根付きのバス停の設置はできないのですか。

浪岡事務所
総務課 屋根付きのバス停ということですが、バス停を設置しているところは、歩道がほとんどであり、その歩道も一定以上の幅がないと屋根付きのバス停を作ることができない状況です。市が、浪岡地区に屋根付きのバス停を設置したのは、大栄小学校の前のバス停になりますが、それ以外は、歩道の幅が狭く、設置が難しいのが現状です。

委員 主な取組の中にコミュニティ・スクールとありますが、もう少し具体的な中身を知りたいのですが。

教育課 この事業は、保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会制度を導入し、地域の力を学校運営に生かすことにより、学校が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みを構築し、地域とともにある次世代の学校づくりの実現を図ることを目的としております。

浪岡地区においては、もう既に地域学校支援協議会という組織がありますが、来年度からはコミュニティ・スクールに変わることになります。

委員 マイナンバーを利用して各種証明を発行されるということで、これは非常にいいことだと思います。ちなみにマイナンバーの交付率は何パーセントですか。また、料金は窓口で利用した場合とコンビニを利用した場合では違うのですか。

浪岡事務所 青森市のマイナンバーの交付率ですが、約12%となっております。コンビニの交付については、まだ詳細が決まっていますが、他の自治体をみるとコンビニの交付手数料が安いところもありますし、同一のところもありますので、これから近隣市町村の例も含めて検討していくこととなります。

委員 主な取組の中にスマート農業普及対策事業とありますが、例えばドローンを活用した他県の話ですが、ドローンで農薬を散布した結果、過敏症の疾患患者が増えて、散布をやめたら患者が減ったという事例があります。

このような懸念材料に対して、情報や知識について、専門の方から意見収集することはあるのですか。

農業政策課 ドローンに関して言えば、他県の農薬散布のこと以外でも墜落事故や死亡例など、さまざまなことがあることは承知しております。

スマート農業自体はドローンだけではなくて、AIやアシストスーツなど様々なものを利用して省力化、労力の軽減などを図っていくということで、ドローンだけに限らず、全てのものを対象に、検討しております。

今年の1月には認定農業者協会で、民間企業のご好意で今現在こういったものを農業に活用できるかの講演をしていただきました。それらを含めて今後、農業者が期待するような作業なり、機械なりに対して重点的に講演会などをしていきたいと思っています。

報 告

青森市中世の里歴史文化的アメニティ形成事業について

浪岡事務所総務課から、「青森市中世の里歴史文化的アメニティ形成事業」の資料等に基づき説明。(別添資料参照)

◎委員からの主な意見等

委 員 要望ですが、中世の館展示室のジオラマ制作をとりやめ、浪岡城跡のビデオを作るのは良いのですが、美人川の話も付け加えて制作をしてほしいです。

浪岡事務所 副所長 プロモーションビデオについては、ストーリー性を持った内容にしたいということで、今後、その内容について、いろいろ考えていくことにしています。美人川伝説などの、地元浪岡の良い物語をとり入れられるのか、など、ビデオの内容については、今、地域づくり振興課で、商工会、観光協会、アップルヒル、あびねす、公立大学の学生たちをメンバーとして「浪岡に遊びに来てもらい隊」という誘客促進のためのプロジェクトチームの検討会議を設置して、実際に活動をすすめており、今後、その中で、ご意見を伺いながら、美人川も盛り込むことについても検討していきたいと考えています。

委員 アニメを入れたり、空から撮ってみたり、そういう形になるという
ことであれば、できれば早く作ってもらえるようお願いします。
それから観光マップとありますが、このマップも新しく作るの
ですか。

地域づくり 観光マップは、既存のものをリニューアルするもので、「浪岡
振興課 に遊びに来てもらい隊」の会議の中で、観光協会の方も出席いた
きまして、先般ワークショップも実施し、今年度中に完成する予定
になっています。

また、観光マップを使って、浪岡地区内の各観光施設を巡るため
のサインを、観光案内サイン整備事業の中で、来年度、10箇所ほ
ど作る予定です。

議長 今回の提案は、ビデオ制作に関して承認をいただきたいという
ことですので、皆さん、了承していただけたということによろしい
ですか。

委員 出席委員了承

議長 皆さんから、ご意見として浪岡城跡だけでなく、美人川などの観
光資源もドローンで撮影してほしいということでした。今日、事業
について承認をしましたので、是非、良い形のものを作っていた
きたいと思います。